「病院図書館」投稿規定

本雑誌は、病院図書館活動およびその関連分野に関する論文を掲載するもので、年1回の発行を予定する。

Ⅰ．受領原稿について

- 未発表の原稿であること。
- 原稿の採否は会誌編集部が決定する。
- 原稿受付日は、会誌編集部が原稿を受領した日とする。
- 論文の校正は、初校は著者が行い、第2校以降は編集部が行う。
- 投稿された記事の原稿などは、原則として返却しない。
- 別刷は希望者には20部まで無料進呈する。

Ⅱ．提出方法：以下の2種類を提出する。

- データファイル（本文・図表）をE-Mailで送信（原則としてWord形式にて作成すること）
- 印刷原稿（A4版・横書き）を送付

Ⅲ．記載事項：下記項目を記載順に記入する。

- 論題（可能であれば英訳も併記）
- 著者名（かなを振ること）、所属機関名、E-Mailアドレス（掲載可能な場合のみ）
- 本文
- 参考文献（Ⅴ．参照）

Ⅳ．原稿様式

1．文字の規定

- 数字・欧文には半角文字を使用する。
- 半角カタカナ文字は使用しない。
- 年号は西暦を使用する。
- イタリック体やゴシック体を特に指定する場合にはその箇所に下線を引き、その旨を明記する。

2．見出しの規定：各項目の見出しは、次の順に用いる。

Ⅰ．Ⅱ．Ⅲ．・・・
1．2．3．・・・
(1)　(2)　(3)・・・
ⅰ）　ⅱ）　ⅲ）・・・

3．図表の規定

- 図表は本文中に貼付せず、一点ずつ個別に作成する。
- 図表には標題・番号を付す。
- 本文中の該当個所にも図表番号を明記する。

Ⅴ．参考文献

- 本文中に言及された順番に従い、連続的に番号を振る。
- 本文中の該当個所にも参考文献番号を明記する。
- 詳細は、次頁『**「病院図書館」参考文献記載規定**』を参照。

Ⅵ．著作権

- 本誌に掲載された論文の著作権は、近畿病院図書室協議会に帰属する。
- 著者自身の権利を拘束するものではないが、掲載原稿を再利用される場合は、事前に本協議会まで連絡されたい。
- 再利用する原稿は発行後の掲載原稿のみとする。

Ⅶ．問い合わせ先

近畿病院図書室協議会・会誌編集部
〒615-8087　京都市西京区桂御所町1　三菱京都病院図書室　井上智奈美
TEL：075-381-2111・FAX：075-392-7952

（2020年6月）

Presented by Medical*Online

「病院図書館」参考文献記載規定

Ⅰ．雑　誌

著者名［複数の時は“,”でつなぐ。4人以上の場合は3人目の後に“**他**”（アルファベット表記の場合は“**et al.**”）と記入。アルファベット表記の場合は、“**名字_(半角スペース) 名前のイニシアル**”とする。］：**論題．雑誌名**［欧文雑誌名の省略は、Index Medicusの省略名に準拠し、和雑誌名は省略しない。略誌名を用いる場合は省略部分に“.”などは付けず、“Hum Pathol”のように、スペースで区切って記入すること。］．**年；巻（号）：ページ**［1ページの場合“**21**”、複数ページにわたる場合“**21-3**”。］．

上記参照の上、不明な部分は「生物医学雑誌に関する統一規定（改訂第5版）」(“Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals”）に準じて記入する。

ex.)

1) 鴨志田伸吾，佐藤嘉洋，堀貞明他：胃生検組織における H. Pylori の形態学的検出とその病理学的意義．病理と臨床．1995；13(4)：1689-98.
2) Genta RM, Robason GO, Graham DY : Simultaneous visualization of helicobacter pylori and gastric morphology : a new stain. Hum Pathol. 1994 ; 25(2) : 221-6.

Ⅱ．単行本

著者名［複数の場合はⅠ．**雑誌**に同じ。］．**論文名．In**：［洋書の場合のみ記入。］**編者名**［洋書の場合は“**ed.**”、和書の場合は“**編**”を付す。］．**書名．版数**［洋書の場合は“**ed.**”、和書の場合は“**版**”を付す。］．**出版地：出版社；年．ページ**［1ページの場合“**p. 20**”、複数ページにわたる場合“**p. 45-56**”。］．

ex.)

1) 山崎茂明．検索のキーポイント．医学文献サーチガイド．東京：日本医書出版協会；1993. p. 31-3.
2) 本田哲三．注意障害と記憶障害の評価法．江藤文夫他編．高次脳機能障害のリハビリテーション（臨床リハビリテーション別冊）．2版．東京：医歯薬出版；1995. p. 129-34.
3) Kennedy RD, Caird FI. Physiology of aging of the heart. In : Noble RJ, Rothbaum DA. ed. Geriatric cardiology. 2nd ed. Philadelphia : FA Davis Company ; 1981. p. 1-8.

Ⅲ．電子文献

著者名．論題．［引用日］．URL

ex.)

1) 中条卓．PubMed 徹底活用講座．［引用　2000-06-02］.
http : //www.asahi-net.or.jp/medical/search/pubmed0.html

（2014年8月）

Presented by Medical*Online